

頁数 位置	正誤内容	
	誤	正
35頁		二項分布の分散の式を加筆
52頁 最終行	意識490個	意識490000個
193頁と194頁の式	ただし、 $\sigma^2 = \dots$	σ^2 に \wedge (ハット)記号の追加(2カ所)
251頁 下から3行目	$n_A \times n_B$ 個の二項分布に従う確率変数ですので、	削除
265頁 ④の2本目の式左辺	$\sum x_i (y_i -$	$\sum x_i (y_i -$
274頁 最初の式の最右辺の分子	分子の一部のみグレー	分子を全てグレー
276頁 4行目～	ただし、必要な変数が入っていないよりは不要な変数が入っていた方が害は少ない(不要な変数が入っていても真の係数の期待値となります)ので、迷うようでしたら残しておいて結構です。	必要な変数が欠けていては推定量にバイアスが発生してしまうので良くないのですが、不要な変数が含まれると、今度は予測性能や推定量の精度が低下してしまうので、やはり良くないのです。
277頁 21行目		(ダミー変数の場合は2群の母平均に有意差がある)を加筆
278頁 最終行	この結果から、駐車場の有無がもっとも賃料に影響を与えることがわかります。	ただし、連続変数とダミー変数とでは標準化の基準が異なるので比較できません。これから、駅徒歩よりも築年数の方が賃料に大きな影響を与えたことがわかります。
285頁 図13.1	ロジスティック曲線	ロジスティック分布の累積分布関数(ロジスティック関数)
同上	累積正規分布	正規分布の累積正規分布関数
286頁 下から4行目	「ロジスティック関数の曲線…	「ロジスティック分布の累積分布関数(ロジスティック関数)の曲線…
288頁 一番下の式のタイトル	ロジットモデル	ロジスティック関数の線形変換モデル(ロジットモデル)
290頁 図13.6	α, β	パラメータ θ
同上	注:関数の形は…	注:分散が極めて小さい正規分布など、連続型確率分布の場合には尤度が1を超えて対数尤度が正になることもあります。
291頁 3行目	$n=1$ とした	試行回数を1とした
292頁 3つの式のタイトル	ベルヌーイ分布で	3カ所とも削除
297頁 最終行	最低50のデータ…	(最低20)のデータ…
347頁 最初の式の左辺の分子	$P(\text{黒目} \mid 6\text{の目})P(\text{各目})$	$P(\text{黒目} \mid 6\text{の目})P(6\text{の目})$
章末問題解答(ダウンロード) 29頁 第2段落最後に加筆		ただし、連続変数とダミー変数とでは標準化するときの基準値がそもそも異なるため、それらの標準偏回帰係数を直接比較するのは本来望ましくありません。よって、今回は「駐車可能台数よりも店舗面積の方が売上に大きな影響を及ぼしている」程度にしておいて、駐車可能台数とまで比較するのはやめておいた方が良いでしょう。